

吾々福佐聯合會である、資本主義没落の嵐が田舎、職會に迫りたる今日互に手を握る氣運が起つて來た之を踏躰にしようと思つてゐる奴もある、東洋に於ける吾々の責任から手を握り合ふ事は必要であり農民は福佐に集れと言ふ事を引込め飯米の一箇年間獲得闘争の爲未組織者と共に吾々の階級的使命の爲に邁進する

可 決

二、小作米減免要求に關する件

早害地農民救済對策の件

可 決

筑紫 磯野 某 説明

三、立毛、勸産差押、土地立入禁止、土地取上反對の件

朝倉 木林 善三 郎 説明

職業警則論、大衆動員による團結の威力を發揮（抹

殺の處）、）、中止

岩 田 重 藏 説明

單なることで土地を取上られては困る、一寸した争議で田を取上られ償償して種々抗争したが結局田を取上げられたが之は警察の斷應もあつたが、）、）、中止

可 決

○緊急勸諭

太田清藏に對する小作争議應援の件

單獨組合 阿 部 某 説明

太宰府で小作料減額の争議をやつてゐるが他の多くの小地主が吾々の心を察して適宜減額してゐるのに太田清藏丈まけぬ、吾々が團結すれば如何なる斷應を加へられても遺憾に満ちることが出来る。